

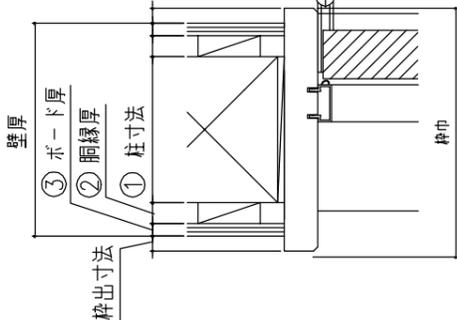
## 販売店・加工店様へのお願い

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直射日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨がかけられない様にご注意ください。

## 壁厚に対する枠（枠巾）の選び方

\* 枠は壁厚によって使い分けてください。



対応壁厚	枠巾	枠出寸法
51~70	90	19.5~10
71~90	110	19.5~10
111~130	150	19.5~10
141~160	180	19.5~10

壁厚 = ①柱寸法 + ②胴縁厚 × 2 + ③ボード厚 × 2  
 枠出寸法 = (枠巾 - 壁厚) ÷ 2

\* 枠出寸法は巾木の厚さより大きくとってください

## 室内ドア梱包形態

梱包形態	梱包内容	単体ドア	トイレドア	親子ドア	
本体梱包	ドア本体	1	1	親ドア-1 子ドア-1	
枠梱包	上 枠	1	1	1	
	縦 枠	左	1	1	1
		右	1	1	1
	戸当り材	上	1	1	1
		縦	2	2	2
	フランス落とし受け	—	—	1	
	定寸定規	2	2	2	
ビス	φ3.8X57皿木ネジ	8	12	12	
	φ4.1X45丸木ネジ	12	12	12	
部品箱	小口シート	1	1	1	
	施工マニュアル	1	1	1	
	レバーハンドル	1	1	1	
丁 番	上用-1	上用-1	上用-2		
	下用-1	下用-1	下用-2		

**別売品** …… 杓摺り、トイレ下枠、ドアクローザー、ドアストッパー、ボトムエアタイト、明かり取り

## 開口部の作り方

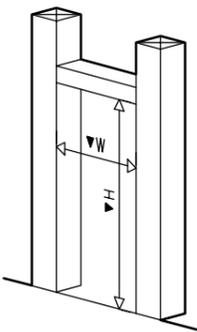
開口部は差し金、下げ振り等を使用して水平・垂直を正しく出してください。

製品寸法表

(単位mm)

機種	枠W(ドアW)	枠H(ドアH)
室内ドア	730 (674)	2040 (1992)
	780 (724)	2040 (1992)
	875 (819)	2040 (1992)
トイレドア	H19	2040 (1962)
	H20	2040 (1992)
親子ドア	1190 (親F724) (子F740)	2040 (1962)

\* トイレドア H19はトイレ下枠を使用するタイプです。



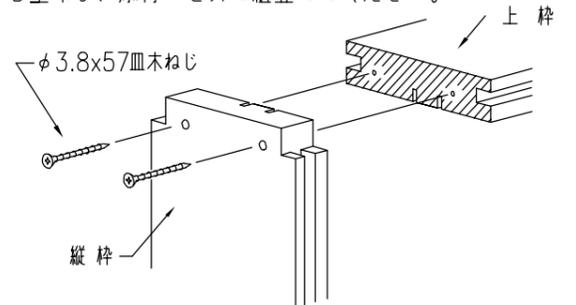
開口▼W=枠W+10mm

開口▼H=枠H+5mm

- 杓摺りやトイレ下枠を使わない場合  
縦枠を切り詰めてください。  
\* ドア下端の隙間は標準で6mm算出です。  
縦枠は床の納り寸法により  
枠Hより最大15mm切り詰めができます。
- 杓摺りやトイレ用下枠を取付けた場合  
枠の切り詰めの必要はありません。

## 枠の組立

開口部に合せて、縦枠の下端部を切り詰めてください。  
 枠組立時、部に木工ボンド(別途)を塗布し、添付のビスで組立ててください。



## 杓摺りの取付け

杓摺り、トイレ下枠が必要な寸法に切断してください。

切断寸法表  
(単位: mm)

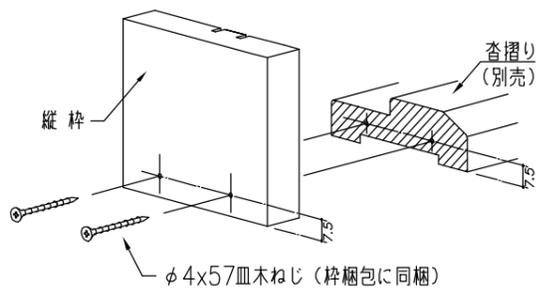
機種	枠寸法	杓摺り、トイレ下枠 切断寸法
	室内ドア	W:730
	W:780	732
	W:875	827
トイレドア	W:648	600
親子ドア	W:1190	1142

### お願い

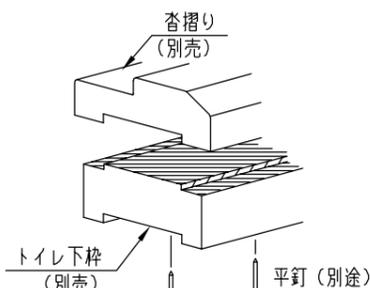
- 縦枠・杓摺り・トイレ下枠に下穴を施してください。  
 ・下穴の大きさは、組立ビスの径の約65%で深さは、組立ビスの長さの100%です。(組立ビスはφ4x57ですので、下穴のドリルの径はφ2.6 深さは33mmとなります。)
- ・下穴加工を怠りますと枠材に亀裂が入ることがあります。

### 下穴の加工位置一覧

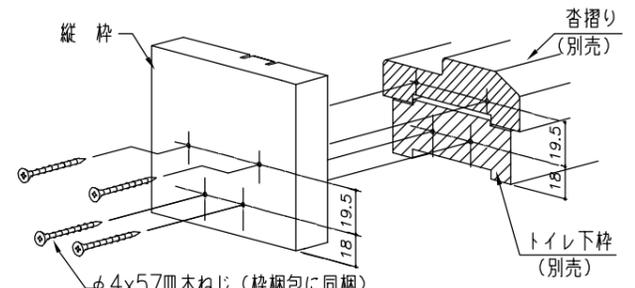
	枠巾90	枠巾110	枠巾150	枠巾180
平杓摺り				
一般杓摺り				
トイレ下枠・杓摺り				



部に木工用ボンド(別途)を塗布し同梱のビスで固定してください。



トイレ下枠 部に木工用ボンド(別途)を塗布して杓摺りを平釘等で固定してください。

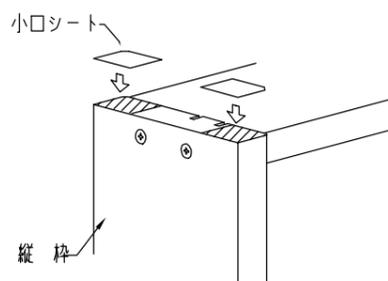
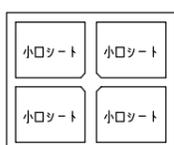


部に木工用ボンド(別途)を塗布し同梱のビスで固定してください。

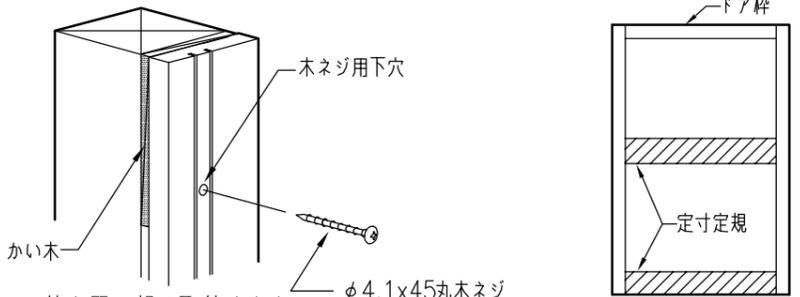
## 小口の処理

部に小口シートを貼り付けてください。

小口シートは部材断面に合わせてきれいに貼り指で強く押しつけてください。



### ■ 枠の取付け



- 枠を開口部に取付けます。
- 枠回りの下穴部分には必ずかい木を入れてください。
- 杓摺り（別売）を使用しない場合には、枠梱包内の定寸定規を下に置き枠の垂直、ネジレ、水平を調整して木ネジで固定してください。

**お願い**

※定寸定規で必ず枠内寸法を確認しながら固定してください。確認を怠りますと、本体取付けに支障をきたす事があります。

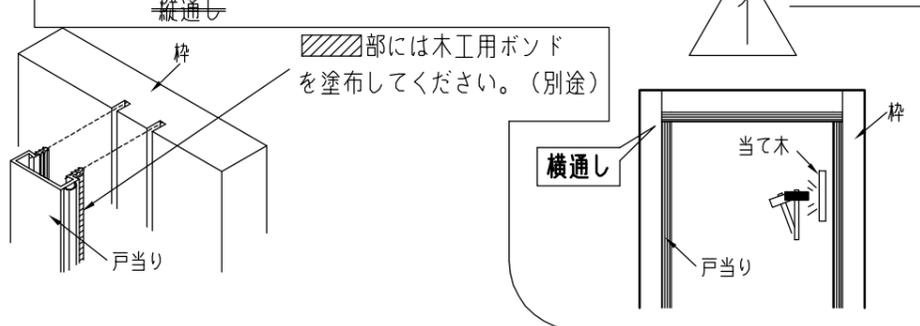
○定規で枠にキズがつかないように注意してください。

### ■ 戸当りの取付け

壁・床材仕上げ後、戸当りを取付けてください。  
戸当りの突起部に木工用ボンド（別途）を付け、枠の溝に突起部を合せ当て木をしてたたき込んでください。

※戸当り縦材は床の納まりに合わせてカットしてください。

（戸当りは横通しとなっています。）



### ■ 丁番の取付け

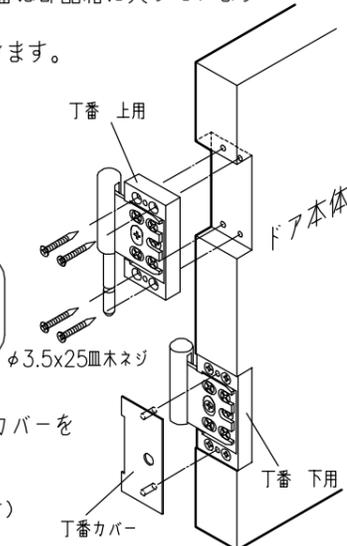
\*本体側丁番は部品箱に入っています

ドア本体に丁番を木ネジで取付けます。

丁番には右用、左用以外に  
上用、下用がありますので  
注意して取付けてください。

**注意**

丁番は木ネジでゆるみのないよう  
しっかりと取付けてください。

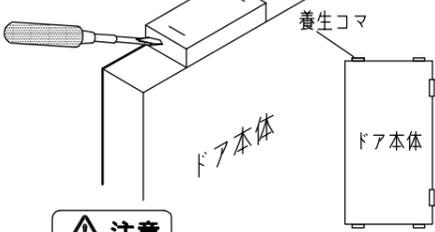


丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを  
しっかりと嵌め込んでください。

（本図は右吊り元の例です）

### ■ 養生コマの取り外し

本体を吊り込む前に、本体を養生している  
コマ（木片）を取り外してください。



**注意**

外したコマは針が  
飛び出していますので  
ケガをしないように  
折り曲げて処理  
してください。

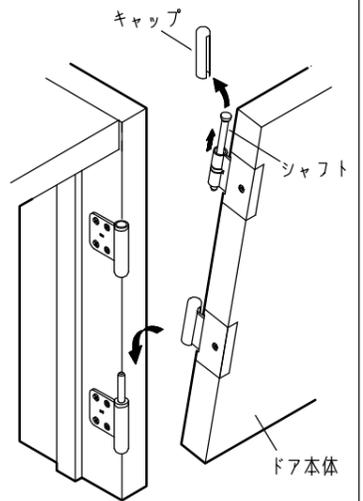
### ■ ドア本体の吊り込み

本体上用丁番のキャップを外し、  
シャフトを引き上げます。

枠下用丁番のシャフトへ本体下用  
丁番を差込み、次に枠上用丁番へ  
本体上用丁番を乗せてシャフトを  
”カチッ”と音のする位置まで  
落とし込みます。

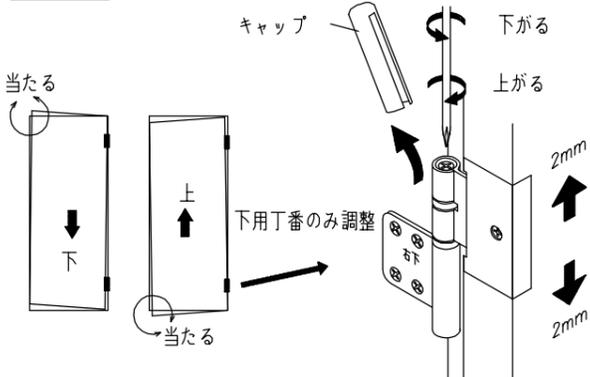
最後に外してあったキャップを  
かぶせます。

（本図は右吊り元の例です）



### ■ 丁番の調整

**上下調整** フラッシュ側の上、下が当たる場合

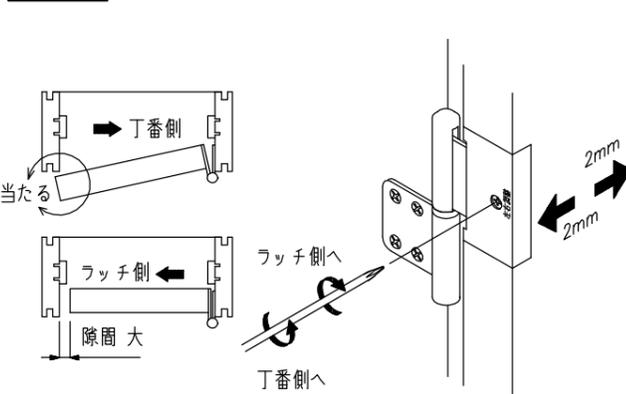


下用丁番のキャップを外し、丁番の管の内部にある  
調整ネジを回し調整します。

右に回せばドアは上方向へ2mm  
左に回せばドアは下方向へ2mm  
調整できます。

調整が終わりましたら、キャップを  
かぶせてください。

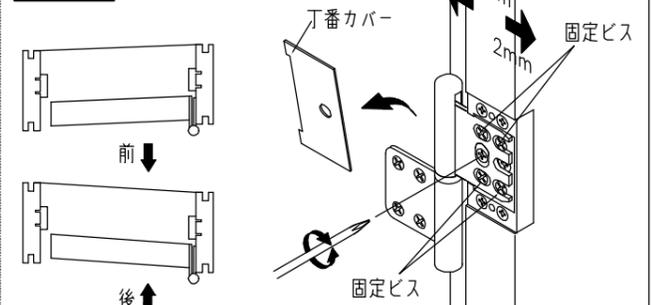
**左右調整** ラッチ側の縦枠に当たったり、隙間ができる場合



ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビス  
を回し調整します。

右に回せばドアはラッチ方向へ2mm  
左に回せばドアは丁番方向へ2mm  
調整できます。

**前後調整** 左右縦枠がネジれている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、4本の固定ビスを  
ゆるめてください。

中央の前後調整ビスを回し調整します。  
前後へ2mmずつ調整できます。

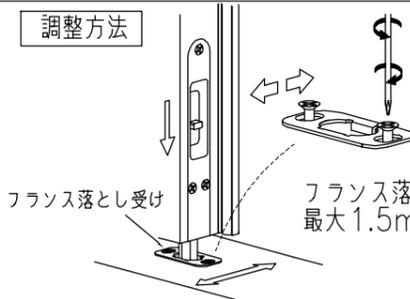
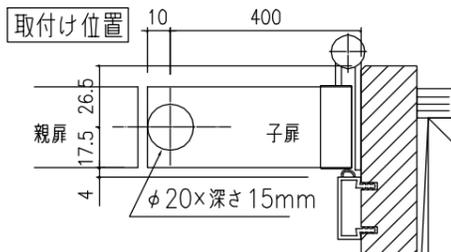
**注意**

調整が終わりましたら、4本の固定ビスを完全に  
締め付けてください。

先ほど外したカバーをしっかりとめ込んでください。

### ■ 親子ドア用フランス落とし受けの取付け

- ・杓摺り（親子専用又は定尺材）を使用する場合でもしない場合でも右図に従い、床面又は杓摺りに加工を施し専用ビスφ3.5x20で取付けてください。
- ・薄杓摺りを使用する場合、杓摺りと床材両方を加工してください。



フランス落とし受けは、上用は上枠に取付いています。  
また、下用は枠に同梱されているので、  
現場にて取付け願います。

フランス落とし受けの前後のチリ調整は  
最大1.5mmずつ動かすことができます。

### ■ 参考納まり図

縦断面（杓摺り無し）

縦断面（平杓摺り）

縦断面（一般杓摺り）

横断面（共通）

